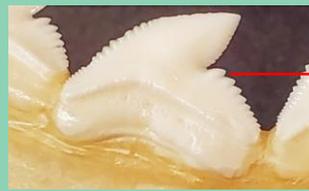


## ネコザメの歯

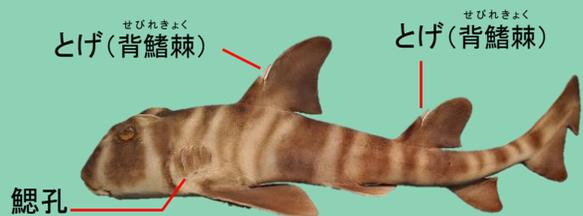


きよし  
鋸歯

イタチザメの歯

サメ類の歯は種によって様々な形をしています。イタチザメの歯は縁がギザギザしており、一部が三角形で先端が尖りますが、ネコザメの歯は異なります。これは、餌と関係しています。イタチザメの餌は大型動物であるのに対し、ネコザメの餌はアサリやサザエなどの貝類やウニ、カニなど小型の硬いものです。ネコザメの成魚はあごの前部に細かい棘状の歯が、奥に平らな敷石状の歯が並びます。この敷石状の歯で貝殻をかみ砕き身を食べます。かみ砕いた貝殻は鰓孔(エラ孔)から排出します。

## ネコザメのとげ



大型のサメ類は外敵から身を守る機能は不要ですが、小型のネコザメは違います。ネコザメには2つの背びれ(鰭)があり、それぞれの背びれの前端にとげがあります。2つのとげに弱い毒があり、捕食者からの攻撃を防ぐ役目をします。

背びれにとげを持つサメは、他にもツノザメ目の一部がおり、その多くはネコザメと同様、小型で底生生活をしています。そのため、とげは上からの攻撃に対して有効です。